

かとうクリニック 第32号

発行日：令和2年1月15日 発行人：かとうファミリークリニック

2020年 新年のごあいさつ



あけましておめでとうございます。
天候の比較的穏やかな年末年始でしたが、いかがお過ごしでしょうか？
かとうファミリークリニックは本年5月15日に開院3周年を迎えます。3年間を振り返ってみると「あの時、ああすればよかったのでは？ またあの時はこうした方がよかったのでは？」と今も日々反省することばかりです。
いま一度医師としての原点に立ち返り、目の前にいる患者さんに最善を尽くした診療ができるよう、更なる精進を重ねていきたいと気持ちを新たにしております。

今年はオリンピック・パラリンピックイヤーですが「オリ・パラ後」を考えなければなりません。それはすぐそこまで迫ってきている超少子高齢化社会。働き方改革はもちろん大事なことです。国力としての生産性は人口減少以上に低下するのではないのでしょうか。

「ポツンと一軒家」というテレビ番組は人気で私もよく見ますが、過疎化によりコミュニティの維持が難しくなっている集落が増えてきている、という現実を感じるがあります。私たちの住むこの地方は比較的恵まれた環境にあると思うのですが、一地域でのほころびが国全体のシステム機能不全につながってこないだろうか、という心配はあります。
このような社会情勢の中で一医療者として貢献できることは何かを考えています。それは次世代を担う子どもたちの安全や健康を守ることでもあり、働き盛りの人々の健康維持でもあり、公共交通の安全な運行の維持でもあります。一人でできることは限られていますが、診療活動・産業医活動を通じ少しでも地域の未来のお役に立てればと思っております。

新年早々すこし湿っぽい話になってしまいましたが、スタッフ一同頑張っておりますので、本年もよろしくお願い申し上げます。

お正月は「JR西日本元日乗り放題きっぷ」で日帰り旅に行ってきました。
この切符は1月1日限定でJR西日本エリアの新幹線・特急列車を含むほぼすべての列車に乗り降り自由という、乗り鉄派にはうれしいもの。日の出前に出発し、新幹線の中から初日の出を拝み、米原で一旦下車してJR西日本エリアに入ります。
今回はキティちゃんの装飾が施された関空特急「はるか」・最後の国鉄形車両の特急「やくも」・山陰地方の各都市を結ぶ「スーパーまつかぜ」・鳥取と関西圏を結ぶ「スーパーはくと(白兔)」と乗り継ぎました。効率化のため画一的で味気ないものになってしまった新幹線とは違い、在来線の特急列車にはそれぞれに個性があります。
ゆっくりと移り変わる景色を眺めながらの缶ビール…列車旅の醍醐味です。



臨時休診のお知らせ

2月1日(土)の午後は研修のため臨時のお休みをいただきます。ご迷惑をおかけいたしますが、よろしくお願いいたします。